

## 令和7年産「ゆめかおり」栽培講習会を開催

県西地域を中心にパン用小麦「ゆめかおり」を栽培する「茨城パン小麦栽培研究会」は、きめ細かな肥培管理により、実需者ニーズに合った高品質な小麦づくりを実践しています。

「ゆめかおり」の生産規模の拡大と品質維持に向け、10月30日に「茨城パン小麦栽培研究会」と共催で令和7年産に向けた栽培講習会を開催し、生産者21名および関係機関等17名の合計38名が参加しました。

始めに普及センターから、令和6年産の収量および品質、実証ほの結果について説明しました。令和7年産も契約数量及びタンパク基準値を達成でき、また規格外や赤かび病の発生も例年より少なかったため、作柄は良好と評価しました。

次に、農業総合センターの専門技術指導員室から栽培管理支援システム「ザルビオフィールドマネージャー」の解析結果について、また農業研究所より現在取り組んでいる研究内容について説明がありました。「ザルビオフィールドマネージャー」については、衛星画像から実際の生育状況を推定できることが分かり今後の活用が期待できる結果となりました。

最後に出荷先の製粉会社から、昨今の小麦の情勢と現在問題となっている赤かび病について情報提供を頂きました。今回の講習会は出荷先の生の声を聞ける貴重な機会となり、当研究会の品質に関する質問や赤かび病の検査方法など、数多くの質疑応答が行われました。

普及センターでは、高品質安定生産を目指して、関係機関と連携し、引き続き支援に取り組んでいきます。

令和6年11月8日 坂東地域農業改良普及センター 松井匠（成長産業）

